

第22回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

No. 1

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー塾を通してたくさんの学びを得ました。まず、講義やGHSと呼ばれるプログラムを通して、自分で考えることや見極めることの必要さ、目的を明確にすることの大切さを改めて感じました。今の時代、どんな情報もインターネットやSNSで手に入れることができますし、生成AIなどのような、情報を得るだけでなく、多くのことに活用できるととても便利な道具があります。そんな中、世界で起きている「分断」がテーマとなったGHSで、スマホやインターネットに接続できる機器が使えない状況で、その現在起きている複雑な問題について調べるだけでなく、自力で考えて考え抜き、意見を確立させることを余儀なくされたのがとても刺激的な経験でした。今まで私は多大な情報を得るだけで満足し、そのあと考えるという作業をあまり重要視していませんでした。しかし、この経験を通して、深く考えることがどれだけ大切なことで、様々な物事を面白くさせるのだということを強く実感しました。

また、私自身、12日間もスマホを手放したことがないですし、今後もないと思うので、大変貴重な経験であったし、その考える力が今の時代に本当に必要なものだと感じています。

加えて、様々なキャリアを持った方の講義や、塾生リーダーの大学生の話聞くことを通して、将来に向けてでも、何に対してでも目的を明確にすることが大切であるということを感じました。私は進路について大まかなことしか考えておらず、とりあえず勉強をして、その勉強が忙しくなると進路に向き合うこともできなくなるという、負の連鎖ともいえる状態が続いていました。しかし、そのように目の前の作業にとらわれすぎて、見通しを持てなくなったり、意義や本質を見失ったりしては元も子もないということを改めて深く考えさせられました。だから、何事にも目的を明確にするということを最初のステップとしていきたいです。

そして、「リーダー塾はどうだった？何がよかった？」と聞かれたら、私が絶対に伝えることがあります。それは、参加しなければ得られない、私の求めていた、新しいコミュニティができたということです。似たような価値観や考え方を持つ人がたくさんいるということは、今まで経験したことがなかったし、それによって得られる安心感がありました。彼らの存在があったことで、私は塾期間中、自分を信じ切ることができたし、今後も信じていけると思うので、一生涯になるだろう今後の付き合いを大切にしていきたいです。

2 印象に残った講義とその理由

中川智弘先生の「壇上に立ってみる」という講義です。このリーダー塾の卒塾生でもあり、ここで得た刺激を基に情熱を捧げ続けている先生に感銘を受けました。

講義の中でも印象に残ったことは、先生の気持ちを原動力として行動に移していることや、「弱みをプラスに変える」という言葉です。私自身、弱みが明るみにでてしまうと、たとえばポジティブな方向に思考を転換しようとしても、引きずってしまうことがよくあります。

だから、講義を聞いて、弱みをどんな方向にでもプラスに変え、原動力として自分のやりたいと思えることに情熱を捧げていきたいと強く思いました。

また、壇上に立つということは、スポットライトが当たるその瞬間のみを指すのではなく、それに向けて一生懸命取り組んだプロセスも含まれるのだということを聞いて、モチベーションがとても上がりました。私は失敗を恐れて人の顔を伺ったり、自分を追い込めば追い込むほ

ど、どうしたらいいかわからなくなったり、目的を見失ってしまったりすることがよくあります。しかし、先生のお話を通して、やはり挑戦し続けて、今のうちにたくさん失敗をして、その失敗をプラスに変えて、さらなる情熱につなげられたらいい、つなげていきたいと思いました。

3 今後のわたし

私はこの塾で得たことや学んだことを絶対に忘れたくはないし、頭の片隅に置いておくだけでなく、実際に行動に移していきたいと強く思っています。

第一に、時間を有効活用していきたいと思っています。勉強や部活、様々な活動をしていますが、忙しいということを言い訳にせず、それぞれの活動を濃いものにしていきたいと思っています。だから、両立していくために、無駄をなくし、効率化を進め、時間を上手く使っていきたいです。

第二に、目標を立て、目的を明確にして行動していきます。進路を考えるうえで、将来的に何をしたいのか、何をするためにどの大学に進学するのかなどの詳しい見通しをたてていくことはもちろん、部活動や課外活動等でも、予定に追われて作業をするのではなく、目的をはっきりさせ、自分の意志を確立させ、内容を濃いものにしていきたいです。

そして最後に、今後はあまり人に流されないようにしたいです。生徒会や課外活動をしている中で、効率性を重視したり、目的を見失ったり、自分と同じモチベーションを持っている人が少なかったりするなどの理由から、物事を上手く終わらせることをゴールにして、人の顔色を伺い、流されてしまうことが多くありました。まずは目的を明確にさせることから始め、他を知りながら、自分を信じていこうと思います。

No. 2

1 リーダー養成塾を受講して

今回、リーダー塾に参加して、大きく2つのことが印象に残っています。

1つ目は、挑戦することの楽しさです。今までの生活の中で、私は親や学校の先生に言われるほど好奇心旺盛なほうではありませんでした。中学生くらいになってからも、将来のことにあまり興味を持たず、周りと比べて好奇心がないことに焦りや不安を感じていました。「本当にこのままでいいのか、もっといろいろなことに挑戦したほうがいいのか。」というも思っていました。

しかし、リーダー塾に参加してみて、周りの人はすごい人ばかりで刺激を受けたし、挑戦することの楽しさ、苦しくても頑張ったときの達成感を学びました。特に GHS は本当につらくて、クラスの雰囲気も悪くなってしまい、涙することもありましたが、みんなで頑張り、やりきることができました。

2つ目は、自分のことを少し好きになれたことです。小学生のころ、いじめを受けていたことから、私は人と話すとき、キャラクターを作っています。人と話すことはどちらかというと苦手ですが、人前でのキャラクターは明るくてよく話し、よく笑う、そんな自分です。私にはそれが正解わかりませんでした。「本当の自分ってなんだろう。みんなはキャラクターを作っていないのに私だけ作って変なのかな、ずっとこうしていかなきゃならないのかな。」などと思うことも少なくなく、キャラクターを作ることに少し心が疲れていた時期もありました。でも今回のリーダー塾で、「どんな自分も自分だ」という答えが出ました。人前でキャラクターを作っていることが嫌になることもあったけれど、作った自分も一人の自分なんだと思えまし

た。それに、素の自分が嫌いなわけではなくて、きっとキャラクターを作ることによって人間関係を築いているのだろうし、否定しなくてもよいのだなと思えました。

あらためて12日間を振り返ってみると、本当に楽しくて辛くて苦しくて、でも最高な12日間でした。最高な仲間や友だちに出会えたこと、長年悩んでいたことへの答えが出たこと。本当にたくさん学ぶことができました。今回のリーダー塾で学んだことを今後の生活に活かして、よいリーダーになれるように頑張っていきたいです。

2 印象に残った講義とその理由

私が一番心に残っている講義は、加藤暁子先生の講義です。特に「Warm Heart Cool Head」という言葉です。この言葉を聞いて、私は人間性が大切だと思いました。今までいろんな人に出会ってきて、すごく頭がいい人でも、言葉が強い人は周りから愛されていなかったことが多かった。すごく優しい人でも、優しいだけではやっぱり駄目なのだなと思うこともありました。だから皆から頼ってもらえることができ、いい提案もできるリーダー・人材になりたいと思えました。

3 今後のわたし

今回のリーダー塾を通して、なりたい自分像をつくることができました。それは、笑顔・ポジティブ・嫌われることを恐れないということです。今までの私はいろんな人にいい顔をするように考えてしまう癖があり、間違っている人にも強く言えないことが多かったです。これからは、嫌われることを恐れず、でも気配りは忘れない人間になっていきたいです。

また、とにかく好奇心をもって挑戦することを大切にしていきます。失敗を恐れず前だけを向いて挑戦し、一人じゃ難しかったら周りの人の力も借りて頑張っていきたいです。もし失敗しても、成長の種と考え、努力を続けていきたいです。

No. 3

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー塾を通して、明らかに人として、リーダーとして成長することができました。

まず、講義では各界の一流の方々の考え方や人間性に触れることで、自分自身のリーダー像や将来の目標設定に繋げることができました。

また、グローバル・ハイスクール・サミット（GHS）では、一人ひとりの知識を出し合うことで、現実に縛られすぎない、新しい発想が生まれました。そして、その新しい発想こそが次世代への可能性や希望に繋がることを感じました。

そして、12日間の共同生活の面においては、リーダーとしてではなく、人として成長できました。常に時間を気にする。5分前“着席”厳守。指示がなくても、常に先を観て行動する。講師の方は丁寧にお出迎えをする。忘れ物は絶対にしない。GHSの容赦のない鋭い指摘。できないなら、できるまでやる。謝罪する時はしっかり誠意を行動で示す。etc…社会に出た時、リーダー以前に必要なとってくる「当たり前」の力を学ぶことができました。

初めて会った人との12日間の共同生活は決して容易なものではありません。その上、度々起こるGHSでのクラス内の衝突からの空中分解。迫りくるGHSの発表期限。「争いのない未来を描こう～分断からの決別～」というテーマで、戦争について話し合っているのに、いつの間にかクラスが“分断”状態になっている。もう何が何だか。しかし、それでも戦争の本質に迫ろうと必死にことを前に進めようとする。この「前に進める」能力がリーダーに必要な力である

ことを感じました。

緊張から始まり、驚き、不安、苦しみ、悲しみ、楽しさ、喜び、悔しさ、もどかしさ。まさに感情のジェットコースターのような日々でしたが、笑いあり、涙あり、の青春を詰め込んだような12日間でした。

2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残っている講義は滝久雄先生（株式会社ぐるなび代表取締役会長）の講義です。講義では、「やらなければならないことは、やりたいことにしよう」という脳生理学的な観点から物事を見てみました。

しかし、私が滝先生の講義で印象深かったのは、先生の口からでる名言の数々です。中でも私が感動したのは、「人によって、生まれながらに持っているもの、スタートラインが違う。だったら、努力の量が人間の価値なのではないか。」「偉そうな人に偉い人はいない。」の2つです。はっきり言えば、滝先生は1から会社を立ち上げ、一部上場企業にまでした、成功者です。そんな方がこのような考え方を持っていることに感銘を受けました。

滝先生の考えるリーダー憲法は「①最も早く、最もよく」「②人間を好きになろう」「③お互いの文化を尊重しよう」の3つです。リーダーとして自分がどこまでできるかわからないが、努力していきたいです。

3 今後のわたし

私はこのリーダー塾で様々な人と出会うことができました。

講師の方々はもちろんですが、高校生からもたくさん影響を受けました。同じ高校生なのに、こんなにも明確に未来を想像している人がいる。中には、実際に行動に移している人までいる。正直、私にとって夢を語ることは恥ずかしいことでした。夢を持ったところで、こんな夢叶えられるはずもない。馬鹿にされるかもしれない。今思えば、そう言って、夢について具体的に考えることに恐怖を感じ、距離を置いていたのかもしれない。

しかし、リーダー塾で各々の夢や目標を堂々と語っている人を見て、格好いいなと思いました。まだ、具体的な職業までは決められていませんが、人々を楽しませる、笑顔にできる仕事につきたいと考えています。具体的にどのような職業があり、自分がどのような仕事をしたいのか、向いているのかなどを知るために、まずは、自分のできる範囲から視野を広げ、そして行動することから始めようと思います。

No. 4

1 リーダー養成塾を受講して

このリーダー塾を通して、自分の価値観が変わったように感じます。なぜ変わったと思うのか、それは今まで思い込んでいたことや、決めつけていたことが少し無くなりつつあるからです。この塾を通して多くの友だちと出会い、志を共にする仲間も生まれました。GHS などとことんぶつかり合い、火花を散らしあった12日間は今までの人生の中で最も濃い時間だったと確信しています。終わってから時間が経っても、リーダー塾でできた友だちとはいまだに連絡を取り合っています。中には、僕の思いを受けて、学生団体を地元で立ち上げたいと言って、相談してくれている子もいます。最初は少し不安もあった研修でしたが、とても素晴らしいものとなりました。

2 印象に残った講義とその理由

リーダー塾期間中印象に残った講義はたくさんありますが、その中でも最も印象に残っているのは、西日本新聞記者である坂本信弘先生の講義です。この講義を聞くまで、自分の中では中国という国に対して、先入観や偏見などを多く持っており、「中国」や「中国人」という大きな主語でくくっていることが多かったです。しかし、先生の講義の中で、大きな主語でくくらないようにすること、中国に対する思い込みをなくし、実直に今の中国と向き合うことの大切さを学びました。

あまり自分の好まない国であるからこそ、しっかり学ぶことの大切さを知り、ぜひ中国を訪れたいと思うきっかけになりました。

固定観念や偏見で国やそこに住む人々を判断するのではなく、一人の人間として接することが大切であるということを学びました。

これは国だけに言えることではなく、個人にも言えることであるということです。人を第一印象だけで判断せず、奥深いところまで知る必要があることを学びました。

3 今後のわたし

リーダー塾をとして、日々勉強することの大切さを知りました。学校の教科書に書いてあることだけでなく、日々常に好奇心を持つことが何よりも大切であるということです。世の中に常に疑問を抱き、それを徹底的に調べることにこそ真の勉強があると思います。だからこそ、それをこれから実践していきたいと思います。

また、自身の課外活動である、学生団体をもっと全力でやるという決意が生まれました。今までは少し中途半端なところがありましたが、これからは柳ヶ瀬に全力で向き合いたいと思います。そして柳ヶ瀬が再び日本一の商店街になることを期待し、活動していきたいと思います。このリーダー塾で出会った人たちとの「縁」を大切にし、これからも、自分の将来のため日々精進していきたいです。

No. 5

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾に参加する前は、本当に自分が行っても良いのだろうかという不安がありました。しかし、実際に行ってみると全然心配することではなく、むしろ自分から積極的に交流することができました。一人ひとりが異なるバックグラウンドを持っていて、話すうちに自然と自分の視野や世界が広がったと思います。また、グローバルハイスクールサミットなどで熱い議論を交わすことで、知見を深めることができました。

そして、私はクラスで話し合ったことを代表者の一人として前に立って発表しました。自分たちの思いをどう伝えるのか、言葉が相手にどう伝わるのかを意識して、朝から晩まで時間いっぱい考えて練習しました。時には自分を客観視したり、仲間からの指摘を受けたりしながら、本番まで全力でぶつかりました。

先生方の講義では、自分では触れたことのない分野の話も聞くことができ、とても面白かったです。質疑応答の時間があったのも魅力的でした。

どの日も充実していて、時間が過ぎるのがあっという間でした。

2 印象に残った講義とその理由

私は中川智博先生の講義が印象的でした。もともと外務省には興味を持っていて、講義では実際に務めている方の話を聞けたのが嬉しかったです。また、質疑応答の際に母国語ではない言語を話しているときの違和感についての質問がありました。私も海外の友だちと他言語で話

すときに感じていたので、強く共感できました。そのため、その質問に対しての先生の答えには感銘を受けました。私にはなかった考え方で、今後の学びに活かしたいと思いました。

3 今後のわたし

リーダー養成塾に行く前は、世界のあらゆる問題について、表面的には知っていても、理解しようとする姿勢は圧倒的に足りませんでした。しかし、この経験を通して問題の深刻さを痛感し、まずは自らの知ろうとする姿勢が大事だということに気付きました。つまり、一人でも多くの人が自身に刻み、風化させないことが重要です。そのため、私は当事者意識を持って、様々な問題と向き合っていきたいです。

また、たくさんの講義を受けて得ることができた多角的な視点を活かして、自分には何ができるのか、何をしたいのかをじっくり考えて、行動に移したいです。そして、出会った仲間を高め合いながら、さらに次の世代を生きる人に良いバトンが渡せるように、自分なりに働きかけていきたいです。

No. 6

1 リーダー養成塾を受講して

私にとって、リーダー塾で過ごした12日間は人生で一番濃い12日間となりました。リーダー塾で共に過ごした仲間は、同じ高校生とは思えないほど志が高く、自分の考えをしっかりと持っている人たちでした。私がリーダー塾で印象に残ったことは、GHSと呼ばれる、各自事前に調べてきたことをクラスでまとめて発表する活動です。クラスのほとんどの人が積極的に挙手をし、考えを発表し、白熱したディスカッションをしている中で、自分の意見をきちんと持てず、自身を持って発表することができない自分がとても悔しかったです。そんな自分を変えたくて、みんなみたいになりたいくて、7日目に全クラスが集まる場で挙手をして考えを発表しました。すると、クラスの子が「私が言いたかったこと全部言ってくれた！ありがとう。」「めっちゃよかった。」と、わざわざ私に伝えに来てくれました。私みたいに変わろうとしている人を受け入れてくれて、認めてくれる優しい仲間ばかりで、そんな仲間とリーダー塾を機に友だちになることができて、本当に自分の財産になりました。

リーダー塾期間中は、一息つく間もないくらい、毎日目の前のことを必死でやり遂げていかないといけないため、仲間とゆっくり雑談する時間は多くはなかったですが、最高の仲間と出会えて、お別れの時にはみんな大号泣でした。辛いこともしんどいことも多かったけれど、普通に生活しては出会えない人たちとの出会いがあり、本当に私にとって良い経験となりました。

2 印象に残った講義とその理由

私は、佐野恵美子先生の「フランスと日本で見つけた『好き』を仕事にするチョコレートの旅」が印象に残りました。佐野先生は、福岡県で代々続くチョコレートショップを家業としながら、パリでもチョコレートのお店を開いて活動しています。フランス語も、パティシエの経験もない状態から、様々な辛いことや壁を乗り越えて、今では「世界のショコラティエベスト100」などの様々な賞を受賞されています。フランスのケーキ屋さんには、日本と比べて、ショーケースの中にシェフの自分らしさが表れていて、個性が出ているそうです。パリというお菓子の激戦区で、佐野先生はショーケースに自分らしさや個性を出すことと、毎日その日のスイーツを手を抜かずに作ることを意識していると聞き、行動力の凄さと、相当な努力を重ねていることに驚きました。フランス語もパティシエの知識も0の状態からでも、自分次第でこんなに

変わるんだよ！というようなメッセージが伝わり、私も無理だと思う前に、まずは挑戦する気持ちを大事にしようと思えるようになりました。

3 今後のわたし

リーダー塾に参加している人は、留学経験がある人が多く、海外の高校に通っている人も何人いました。また、私たち高校生をサポートしてくれる、学生リーダーと呼ばれる大学生の中にも、海外の大学に通っている方が何人いました。英語を話せる人もとても多かったです。そのため、英語の勉強をもっと頑張ろうと思えるきっかけになったし、留学に行きたいという気持ちがとても強まりました。

また、GHS という活動で戦争をテーマに調べ学習をし、ディスカッションや発表を行いました。そこで多くの知識を得て、調べていくうちに、もっと深く知りたいと思うようになり、今まで興味を持ったことがなかった国際政治にすごく興味を持ちました。

学校の先生になりたいという夢は変わらず、国際政治や留学など、新たに持った興味についても追求していき、とにかく沢山のことに挑戦していきたいです。